



ANAクラウンプラザホテル宇部 イルミネーション

■宇部市制施行
100周年

- 統合報告書のここが熱い!!
—SDGs編—
- 社名変更のお知らせ
- クラブ紹介
- 社会貢献
- 定期点検・クイズ

発行:
〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96
宇部興産株式会社 宇部渉外部
(電話 0836-31-2111)



「翼」は地域にお住まいのみなさまにUBEグループをより身近に感じていただくために発行しています。

Part 2

祝 宇部市制施行100周年

宇部市の人材教育に携わってきた数々のストーリー

教育 中等

済美女学校

1913年4月25日、私立博愛幼稚園の運営が行き詰ったのをきっかけに、渡辺祐策は済美女学校を開校しました。

当時、私立博愛幼稚園は、責任者が仕事と健康の関係から勤務出来ず、園児も大幅に減少していました。この打開策として、村内で起こっていた女学校誘致の機運を現実のものとし、これに幼稚園を付属させるという構想を企画しました。そ



創業者 渡辺祐策(1925年 62歳)

の後、済美女学校の宇部誘致を働きかけ、これを実現しました。

渡辺祐策は、校舎が狭いため私財を投じて新しい校舎を建築し、運営費も負担しました。開校後は、他の女学校から編入してくる生徒もおり、年々生徒が増え、女学校が地元からいかに求められていたかを実証することとなりました。

同校は1917年に済美実科高等女学校と改称、翌年施設など一切を村に寄付し村立となりました。さらに市制施行に伴い市立宇部高等女学校へと変わり、県への移管を経て学制改革と合併により、県立宇部高等女学校となりました。

教育 初等

沖ノ山尋常小学校

渡辺祐策が最初に取り組んだのは初等教育機関でした。

当時、埋め立てにより大規模な海底炭鉱の開設を進めていた沖ノ山炭鉱は、坑内で働く従業員の数が急速に増大していました。そのため、彼らの子供たちへの

昭和に入り宇部市へ移管されました。

増え、1916年に沖ノ山尋常小学校と改称、さらに

初等教育が問題となりました。ちょうどその頃、船木にあった県立徳基高等女学校の旧校舎が払い下げとなり、渡辺祐策は早速これを落札・移設し、沖ノ山家庭学校として創立させます。その後、年を追って生徒数が増え、1916年に沖ノ山尋常小学校と改称、さらに

現代に受け継がれている学校もあるんだね!!



1923年 沖ノ山尋常小学校

こぼれ話

実業学校で紹介した宇部新川鉄工所は、旺盛な需要にこたえ、会社の飛躍的発展を図るため、基盤整備の投資を一層推進する必要を迫られていました。当時、設備投資の資金調



1926年 宇部鉄工所

達を借入に頼っていた匿名組合であったため、渡辺祐策は1917年7月31日の組合総会で会社の株式組織への転換を諮り、具体化の準備に掛かりました。



1966年 宇部鉄工所

学校 実業

宇部徒弟学校

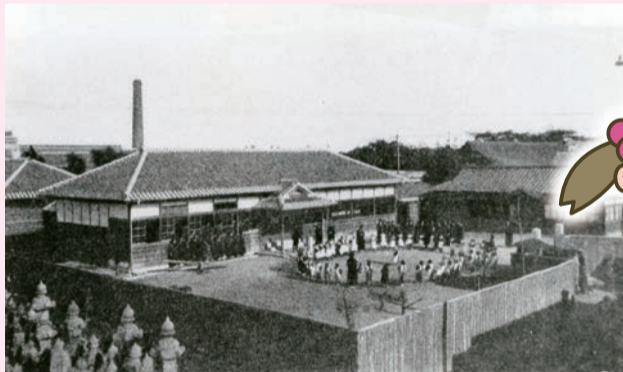
1914年、創業者渡辺祐策は宇部新川鉄工所を発足させました。ここは、炭鉱用機械の製造、修理を行う鉄工所です。

渡辺祐策は、ここで働く者の技能習得と人格の形成を狙いとした実業学校を、同年4月7日に開校。(校名は、宇部徒弟学校。)

その後、当初2年だった修業期間を4年に延ばし、1919年には校名を宇部工業徒弟学校と改めました。その2年後、実業学校令が改正され、徒弟学校制度が廃止となったことに加え、この年に県立宇部工業学校(現・宇部工業高等学校)が開校したことから、校名を長門工業学校と改称しています。

創立から宇部工業学校開校までの期間は、県内唯一の工業関係教育の場でもありました。

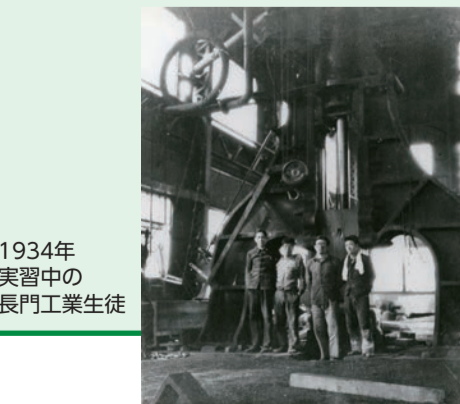
1942年に同校は当社直轄となり、1948年学制改革により、宇部工業高等学校に併合されました。



1914年 左：済美女学校、右：博愛幼稚園 済美女学校の生徒と、博愛幼稚園の生徒が校庭でお遊戯をしている様子。



1934年以前 長門工業学校



1934年 実習中の長門工業生徒